



<p>新規就農者の素顔</p>  <p>氏名：田中 孝樹 住所：兵庫県淡路市尾崎 年齢：40歳</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p> <p>農地：30a（借地30a） 施設：ビニールハウス1030㎡ 経営内容： ・ミニトマトを中心に 大玉トマト、中玉ト マトを施設栽培 労働力：本人、妻 出荷先：フレッシュグル ープ、JA、 直売所、スーパ ー</p>  <p>色づいた中玉トマト</p>
<p>就農から現在まで</p> <p>2014年3月 離職 2014年4月 株式会社パソナ農援隊で3年 間農業研修 2017年4月 就農 2017年8月 ハウスを改修 2019年6月 現在に至る</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p> <p>○良かった点 人とのご縁。農地の借用も、就農そのものも、地域との関りも、多くの人たちにご助力頂いた結果です。そういったご縁があって本当に良かったです。</p> <p>○苦労した点 圃場近くに住居を確保できなかったこと。「空き家を貸していただく」ということは簡単なことではありません。</p>
<p>農業をめざした動機</p> <p>前職では携帯電話の小売販売、スタッフ管理の営業などを長年やっていましたが、33歳の時に「この仕事に自分の先は無い」と見切りをつけました。そして次は「モノ」を自分自身で作って商う仕事がしたいなど考え、色々と可能性を探った結果、農業にいきつきました。ちょうどその頃に出逢った彼女（現在の嫁さん）が料理人として、いつか店を出すときにそれを後押ししたいというのも理由となりました。</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p> <p>パートナーを見つけて下さい。 異性でも同性でも夫婦でも仕事仲間でも、とにかく農業の苦楽を共にしてくれるパートナーの存在は大きい。一人で何もかも完璧にやり遂げられる！という超人的な方には不要な助言ですが、自分が苦しい時に傍で支えてくれる人が居るといのは本当に有難いことです。 就農を本気でお考えなら、まずはそういったパートナーを探されることをお勧めします。</p>